

大学院看護学研究科 博士前期課程		授業 科目	がん治療論 Clinical Management of Cancer Patients			担当 教員	鈴木 片上 橋本	志津枝（専任） 信之（非常勤） 尚子（非常勤）
開講年次	1年次前期	単位数	2単位	科目 分類	専門科目 実践看護学	授業形態	講義、セミナー	
選択必修	選択	時間数	30時間			使用教室	南館 202 研修室	
授業の目的及びねらい		<p>癌の予防、診断、検査、治療（がん化学療法、造血幹細胞移植、緩和医療）について最新の動向を踏まえて理解する。最終回には、治療期にある患者への看護の役割について探究する。</p>						
授業のキーワード		<p>診断と治療、化学療法の作用と副作用対策、造血幹細胞移植、緩和医療、看護者の役割</p>						
講義回数	授 業 内 容 及 び 計 画							
第 1 回	(片上) 化学療法の作用と副作用対策							
第 2 回	非小細胞癌の治療							
第 3 回	小細胞肺癌の治療							
第 4 回	縦隔腫瘍、悪性胸膜中皮腫の診断と治療							
第 5 回	食道癌・胃癌の診断と治療							
第 6 回	大腸・直腸癌の診断と治療							
第 7 回	肝臓癌、胆嚢癌、膵臓癌の診断と治療							
第 8 回	乳癌の診断と治療、子宮・卵巣癌の治療							
第 9 回	腎癌・膀胱癌、前立腺癌の治療							
第 10 回	緩和医療							
第 11 回	(橋本) 白血病の診断と治療							
第 12 回	悪性リンパ腫の診断と治療							
第 13 回	造血幹細胞移植（骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血幹細胞移植）							
第 14 回	移植片対宿主病（GVHD）							
第 15 回	(鈴木) がん治療と看護者の役割							
テキスト								
参考文献	<p>参考文献は講義の中で提示します。</p>							
成績評価の方法	<p>授業への参加態度（10%）、プレゼンテーション（90%）</p>							
教員から学生へのメッセージ								